

vRealize Automation 版 VMware Remote Console

VMware Remote Console 10.0

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-002495-00

vmware[®]

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2017 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。著作権および商標情報。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

- 1 VMware Remote Console について 5
- 2 クライアントへの VMware Remote Console のインストール 7
- 3 仮想マシンのリモート コンソールを開く 9
- 4 VMware Remote Console アプリケーションの使用 11
 - ゲスト オペレーティングシステムのシャットダウン 11
 - リモート オペレーティングシステムによるゲストのシャットダウン 12
- インデックス 13

VMware Remote Console について

VMware Remote Console は、仮想マシン コンソールへのアクセスと、マウスとキーボードの操作を可能にします。

『vRealize Automation 版 VMware Remote Console』ガイドでは、VMware Remote Console アプリケーションのインストールに必要な作業について説明します。

[対象となる読者]

この情報は、仮想マシン コンソールにアクセスしてマウスとキーボードを操作する必要がある管理者およびユーザーを対象としています。

[追加情報ソース]

既知の問題および回避策に関する追加情報については、VMware Remote Console の [リリース ノート](#) を参照してください。

クライアントへの VMware Remote Console のインストール

2

VMware Remote Console には、これを必要とするさまざまな製品および環境における埋め込みユーザー ゲストインタラクションが用意されています。このセクションでは、Windows、Apple OS X または Linux に VMware Remote Console をインストールするために必要な作業について説明します。

手順

- 1 VMware Remote Console のダウンロード ページに移動し、ご使用のプラットフォームのリンクを選択します。

www.vmware.com/go/download-vmrc

あるいは、vRealize Automation の製品インターフェースから [アイテム] - [マシン] の順に選択します。仮想マシンまたは行を選択して、[アクション] - [MRC を使用して接続] - [VMRC のダウンロード] の順にクリックします。

- 2 プラットフォームに応じてインストール手順を実行します。

- Windows

.msi インストーラをダブルクリックして、プロンプトに従います。

- Linux

root 権限で .bundle インストーラを実行して、プロンプトに従います。

- Apple OS X

.Dmg をダブルクリックして開き、VMware Remote Console のアイコンをダブルクリックして [アプリケーション] フォルダにコピーします。

インストール後、`vmrc://` スキームで始まる URI をクリックすると、VMware Remote Console が開きます。VMware Workstation、Player、Fusion も `vmrc://` URI スキームを処理します。

仮想マシンのリモート コンソールを開く

vRealize Automation から VMware Remote Console を使用して、仮想マシン コンソールを開くことができます。
外部の仮想マシン コンソールを開くには、次の操作を行います。

開始する前に

- VMware Remote Console がローカル システムにインストールされていることを確認します。
- 仮想マシンを展開します。

手順

- 1 vRealize Automation の製品インターフェースから [アイテム] - [マシン] の順に選択します。
- 2 仮想マシンまたは行を選択して、[アクション] - [VMRC を使用して接続] - [VMRC を使用してコンソールに接続] の順にクリックします。

VMware Remote Console アプリケーションの使用

4

VMware Remote Console はリモート仮想マシンからマウスと各言語のキーボードを利用できるようにします。

VMware Tools を実行していない仮想マシンのコンソール ウィンドウ内でクリックすると、仮想マシンがマウスとキーボードの入力を制御します。マウスとキーボードの制御をローカル クライアントに解放するには、次のキーを押します。

- Windows または Linux の場合には、[Ctrl+Alt] を押します。
- Apple OS X の場合には、[Ctrl + Command] キーを押します。

注意 VMware Remote Console では、Ctrl+Alt+Delete キー シーケンスを送信して仮想マシンを削除できます。ローカルクライアントがCtrl+Alt+Delete を傍受して反応する場合には、キーボードを使わずに、VMware Remote Console のメニューから Ctrl+Alt+Delete キーを送信します。

この章では次のトピックについて説明します。

- [ゲスト オペレーティング システムのシャットダウン \(P. 11\)](#)
- [リモート オペレーティング システムによるゲストのシャットダウン \(P. 12\)](#)

ゲスト オペレーティング システムのシャットダウン

リモート仮想マシンのシャットダウンには、ソフト（制御されたシャットダウン）とハード（急なシャットダウン）があります。

- ソフト シャットダウンの場合、シャットダウンを完了する前にゲスト オペレーティング システムがアプリケーションを正常に終了します。

データの消失を防ぐため、ソフト シャットダウンが推奨の方法になります。

- ハード シャットダウンは、実行中のアプリケーションに関係なく、パワーオフ ボタンを押した場合と同じ結果になります。

ハード シャットダウンは、ソフト シャットダウンが失敗した場合やソフト シャットダウンが不要な場合に有効です。たとえば、スナップショットを復旧する場合、仮想マシンの状態を慎重に管理する必要がなくなるので便利です。

リモート オペレーティング システムによるゲストのシャットダウン

VMware Remote Console では、リモート オペレーティング システムにキー シーケンスを送信して、仮想マシンをシャットダウンできます。

次のいずれかの方法で Ctrl+Alt+Delete のキー シーケンスを送信し、リモート仮想マシンをシャットダウンまたはログオフできます。

- クライアント キーボードでキー シーケンスを押します。キー シーケンスは、クライアントが傍受して反応しない限り、リモート仮想マシンに送信されます。
- クライアントがキー シーケンスを傍受して反応する場合には、VMware Remote Console のメニューを使用してください。

開始する前に

仮想マシンをオンにします。

手順

- ◆ VMware Remote Console のメニューを使用するには、オペレーティング システムで次の操作を行います。
 - Windows
[VMRC] - [Ctrl+Alt+Del の送信] の順に選択します。
 - Linux
[仮想マシン] - [Ctrl+Alt+Del の送信] の順に選択します。
 - Apple OS X
[仮想マシン] - [Ctrl-Alt-Del の送信] の順に選択します。

インデックス

A

Apple OS X 7

L

Linux 7

V

VMware Remote Console 5

W

Windows 7

い

インストール
Apple OS X 7
Linux 7
Windows 7

か

仮想マシン コンソール 9, 11

し

シャットダウン 11, 12

た

対象となる読者 5

